

名古屋市病院局 平成24年度予算の概要

平成24年度は、病院事業会計に加え、守山市民病院会計を設置しています。これは、守山市民病院を平成25年3月で市立病院としては廃止することに伴い、守山市民病院の資産・負債等の財務状況を明確にすることが必要になる為です。

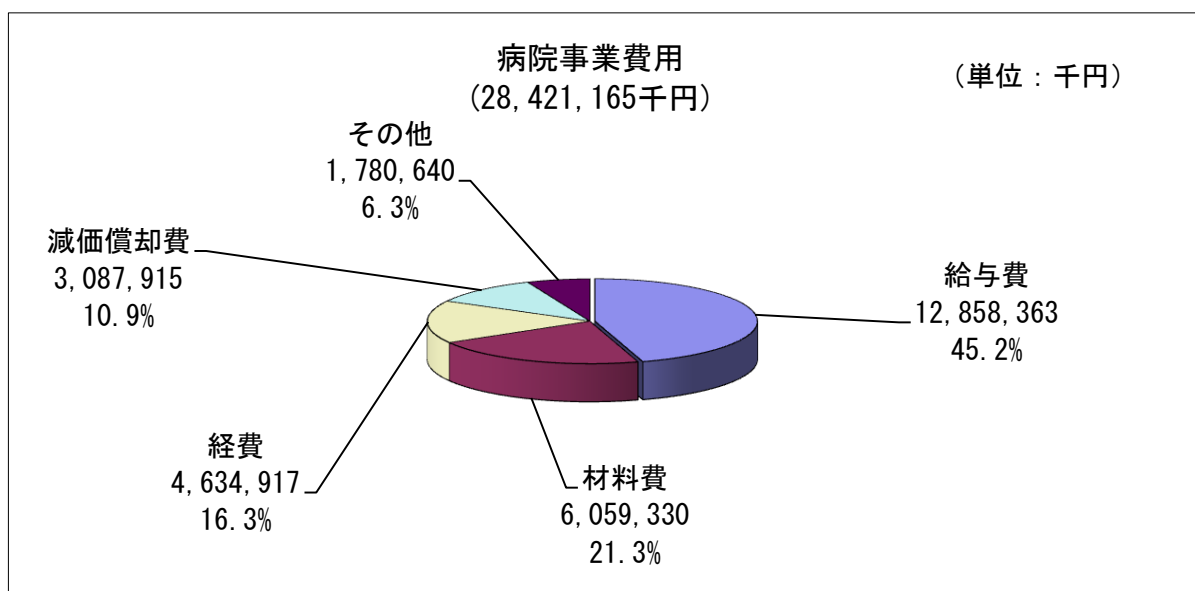
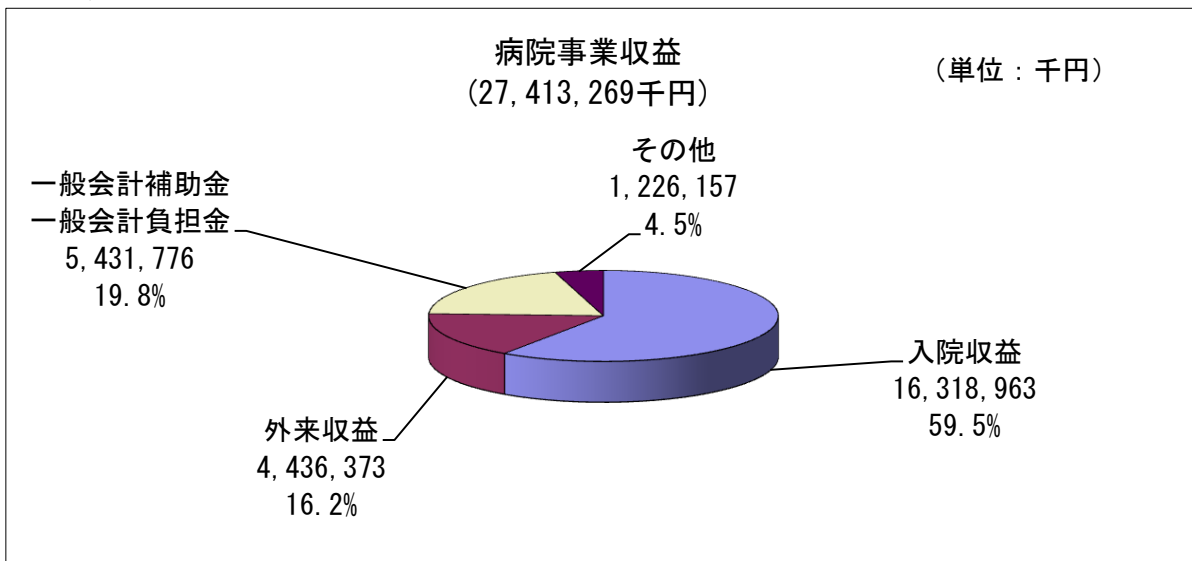
まず、守山市民病院を除く病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を274億1326万円余と見込み、総事業費用を284億2116万円余と見込んでいます。市立病院としては、経営改善に努めているものの、経営環境は引き続き厳しい状況にあるため、10億789万円余の赤字予算を編成しています。

守山市民病院会計の収益的収支予算は、総事業収益を57億9113万円余と見込み、総事業費用を61億1291万円余と見込んでいます。

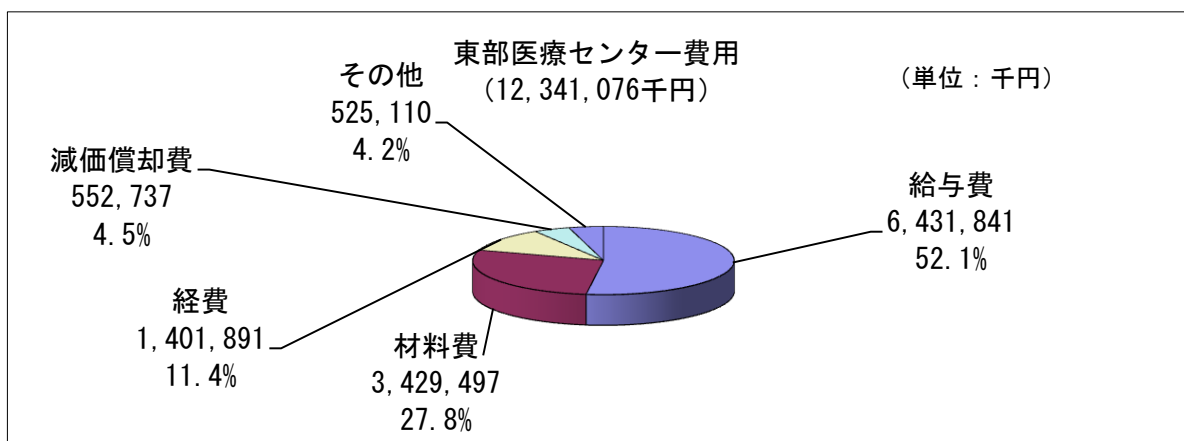
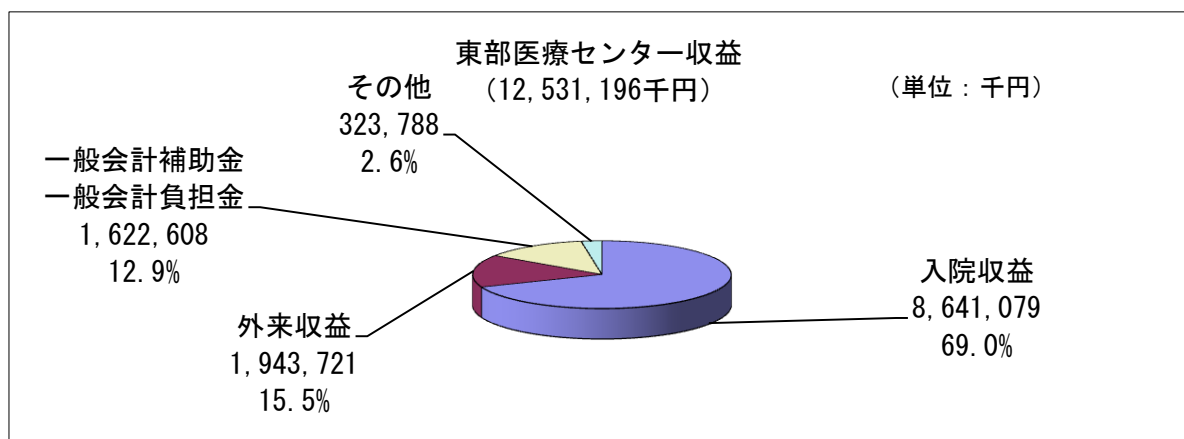
また、西部医療センターにおいては隣接地に健康福祉局が整備を進めてきた名古屋陽子線治療センターの移管を受け、最先端のがん治療を提供し、緑市民病院においては平成24年4月1日より指定管理者制度を導入します。

平成24年度の主な建設改良事業としては、東部医療センターにおいて365日24時間患者を受け入れる「断らない救急」の実現を目指し、救急・外来棟の改築を行います。その他に、東部医療センターにおける単一光子放射型コンピュータ断層撮影装置を購入します。

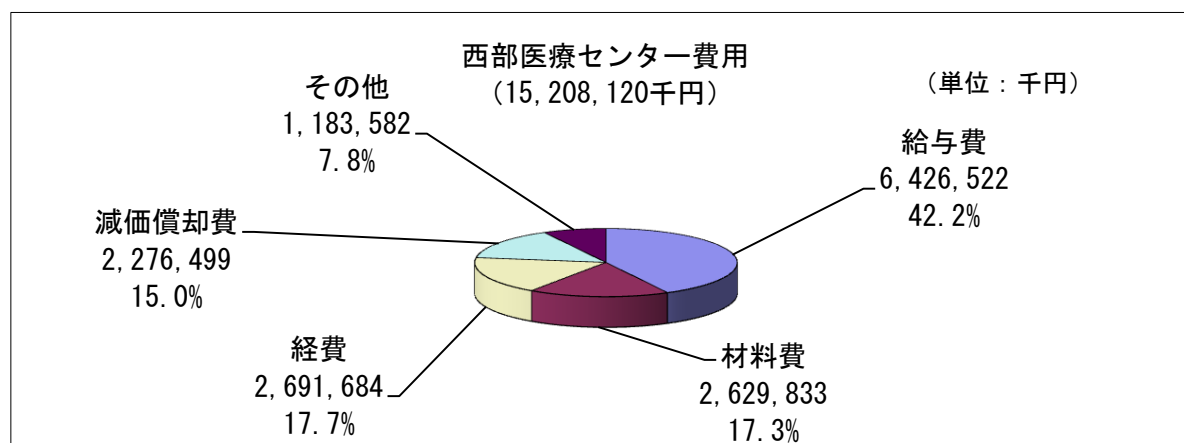
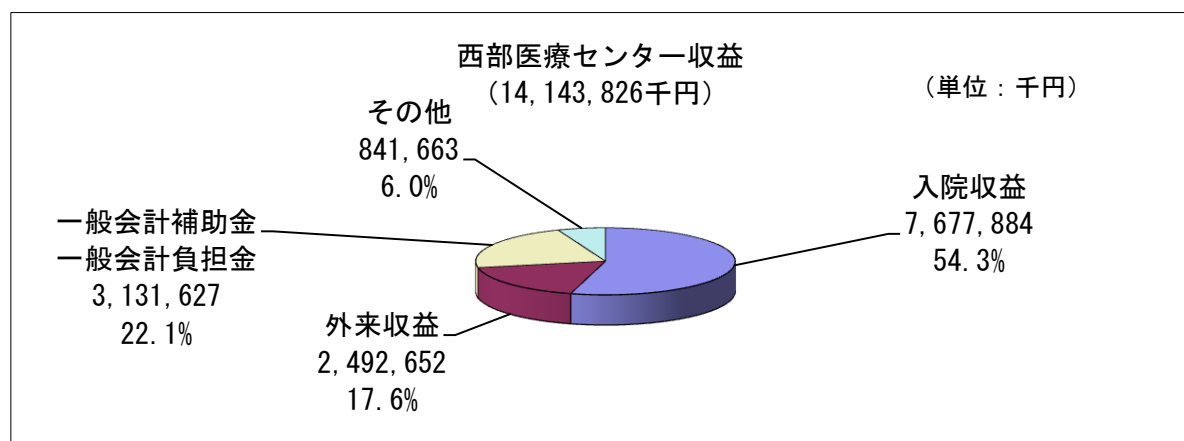
1 病院事業会計の収支



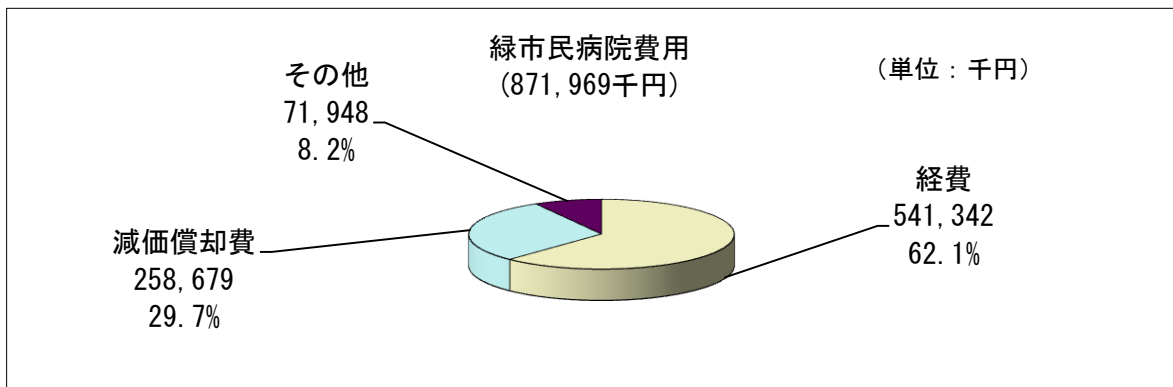
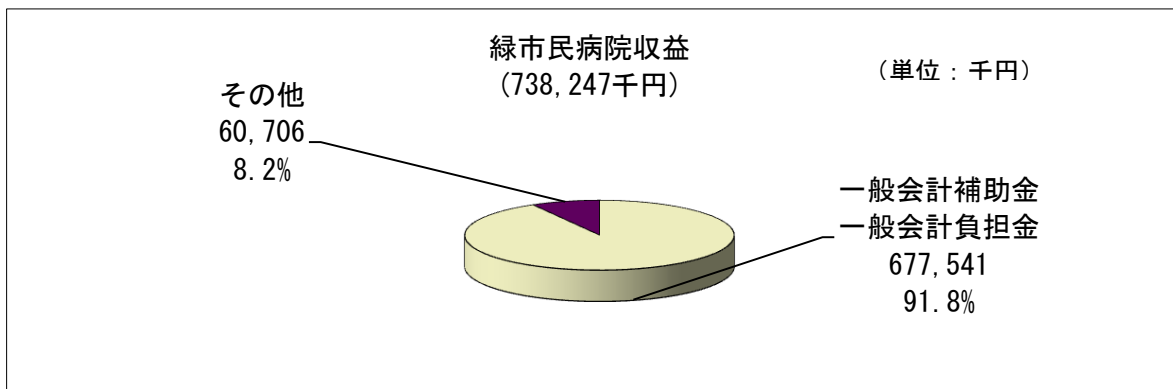
(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院



2 守山市民病院会計の収支

